



東地区コミュニティ運営協議会

「まちづくり計画」



東コミュニティシンボルマーク

2019年

東地区コミュニティ運営協議会

目次

第1部 東地区の概要	1
(1) 東地区の特性（地理、行事及び各種活動など）	1
(2) 東地区の将来人口推移	3
(3) 地域の主な問題・課題	3
第2部 地域の将来像	4
地域ぐるみの支え合い、安全・安心して暮らせるまちを目指す	4
第3部 地域が目指す姿	5
(1) 高齢者にやさしい地域ぐるみの支え合い	5
(2) 防災に強い安心して暮らせる地域ぐるみの助け合い	5
(3) 「子どもは宝」地域での子育てと思いやりのあるまち	5
(4) 四王寺の自然環境を守り、活かすふるさとづくりのまち	5
第4部 まちづくりの具体的計画	6
(1) 「安全で安心できる快適な福祉の東コミ」まちづくり	6
① 東コミ地域生活支援体制整備事業	6
② 高齢者認知症対象者事業	6
③ 高齢者福祉移動バス事業	6
④ 要介護者(障がい者含む)緊急避難対策	7
(2) 「自分の命は自分で守る、防災に強い東コミ」まちづくり	7
① 地震防災対策事業「防災対策委員会」	7
(3) 「子どもの安全と地域資源との調和による東コミ」まちづくり	8
① 東地区の子ども達の安全を見守り、見守られる子育てを目指す。	8
② 東地区の地域資源を活かした「故郷づくり」を目指す。	8
まちづくりの具体的計画（一覧）	9

第1部 東地区の概要

(1) 東地区の特性（地理、行事及び各種活動など）

東地区は、大野城市の東部に位置し、市名の由来ともなっている「大野城跡」があり、四王寺山の麓に広がる素晴らしい環境の東コミュニティである。

まどかパーク(大野城総合公園)では、市内外から多くの人がスポーツを楽しみ、県道那珂川・宇美線、現人橋・乙金線などの都市基盤整備事業が完成、開発された乙金第二土地区画整理事業も終了、新規入居者が多く子ども達が増え、更に大型商業施設の出店で、活気ある地域へと街のかたちが大きく変貌している。



東コミュニティ運営協議会は、釜蓋区、井の口区、乙金台区、乙金区、大池区、乙金東区、中区の7地区が連携し、体育部会、文化部会、福祉部会、女性部会、青少年育成部会、シニアクラブ会、食改善部会、育成部会を有し、あらゆる年代層の参加を得ながら、活発な地域事業を展開している。東地域住民の積極的な参加と連携、支え合い・助け合いの風土づくりで、住み易いまちづくりを行っている。



東コミュニティのシンボルマークとコンセプト

「ひがし(東)」の“ひ”を模した山から、東から登る朝日が顔をのぞかせ、大野城市に光を届けるイメージ。“ひ”は折り重なる山や流れる風を模し、豊かな自然を、柔らかいラインで思いやり、人にやさしいまちを表現。【シンボルカラー：赤】

主な行事及び事業について	
体育部会	れくスポ祭（実行委員会 4 回開催）
文化部会	文化祭（実行委員会 3 回開催）
福祉部会	番茶の会（実行委員会 5 回開催、毎月福祉部会開催ほか）
女性部会	女性部会（委員会年 2 回開催）
青少年育成部会	健やかカルタ会（年 1 回）、青パト巡回、青パト交流会ほか
シニアクラブ会	芸能大会、グランドゴルフ会、（毎月シニアクラブ会開催ほか）
食改善部会	文化祭・れくスポ祭ほか食に関する全ての事業に協賛
育成部会	地子連部会毎月開催（文化祭・れくスポ祭・大文字祭り他協賛）
小中学校	学校運営協議会（年 5 回開催、入学式・卒業式・各運動会、祭り等）
大野交番連絡会	北コミ・東コミ合同会議（年 2 回開催）
東コミ役員会	合同研修会（年 1 回開催）、区長会・副区長会（毎月開催）
その他	各部会、専門部会、コミ運営協議会、その他臨時会議含む
継続事業	平成 29 年度、30 年度、東コミ独自事業として審議中
	① 認知症徘徊者 SOS ネット委員会(平成 29 年度捜索訓練継続実施)
	② 高齢者福祉移動バス委員会(平成 30 年度福祉移動バス運行協議)
	③ 校区別防災避難訓練事業(区単位訓練から校区別実施協議中)



(2) 東地区の将来人口推移

(上：東地区 下：大野城市)

		東地区と市の 全体人口比較		年少者人口 (14歳以下)		生産年齢人口 (15歳～64歳)		高齢者人口 (65歳以上)	
2018年	東	17,207人	17.2%	3,036人	17.6%	10,089人	58.6%	4,082人	23.7%
	市	100,069人		15,795人	15.8%	63,294人	63.3%	20,980人	21.0%
2021年	東	17,459人	17.4%	3,154人	18.1%	10,206人	58.5%	4,226人	24.2%
	市	101,003人		15,784人	15.6%	63,229人	62.6%	21,990人	21.8%
2024年	東	17,901人	17.6%	3,227人	18.0%	10,345人	57.8%	4,326人	24.2%
	市	101,721人		15,647人	15.4%	63,165人	62.1%	22,909人	22.5%
2028年	東	18,155人	17.8%	3,205人	17.4%	10,609人	58.4%	4,341人	23.9%
	市	102,103人		15,126人	14.8%	63,083人	61.8%	23,894人	23.4%

※ 人口の割合は、市全体に対する地区の割合。

※ 年少・生産年齢・高齢者人口の割合は、地区・市全体に対する割合。

※ 市全体の人口増加と同じように増加していく。

※ 市全体の高齢化率と同じように、東地区でも現在の割合より増加しながら推移する。

(3) 地域の主な問題・課題

- ① 高齢化が進む中で独居者の見守り、要介護者への買い物支援、認知症増加での徘徊者対策など、生活支援が求められている。

既に認知症徘徊者捜索訓練の実施や独居者の見守り活動など、地域での活動を実施中ではあるが、ケアを求める皆さんへの対応について総合的なシステムが課題である。

- ② 頻発する自然災害、特に東地区の懸念は「警固断層」による地震災害である。
地震発生時には大野城市被害の60%~70%が東地域に集中するとの予測が出ている中、地域住民の意識が非常に低く、行政頼み、その時点で何とかなるだろう、との意識が強い事が問題である。
- ③ 東地区の中でも、開発による高台住居者の多くが、日常買物が不便で、特に高齢者や、運転出来ない主婦などの買物が一苦勞との強い声があり、買い物難民的な実態が多くみられ課題である。
- ④ 高齢化が進む一方、新規開発での入居者増加に加え、子ども達が急激に増加し、若い保護者との連携、子ども達の安全見守り、地域での子育てなど、学校との連携が重要な課題となっている。
- ⑤ 地域活動への担い手不足、各種行事や工夫した事業など、各区の苦勞を見ても若手の参加や地域活動への関心が薄く、後継者育成が問題である。
男性の参加だけでなく、女性の参加が望まれる。共働きなどの実態が多い。

第2部 地域の将来像

地域ぐるみの支え合い、安全・安心して暮らせるまちを目指す

高齢化が進む中、重要課題として取り組んでいる見守り活動を中心に、高齢者福祉問題解決のために、地域ぐるみの支え合い活動や、さらに自然災害が多発する現在、被害予想が集中するとの予測がある東地域全体としての防災対策は、住民の生活を守るうえで重要な課題である。将来を見据えた安全安心の地域づくりを目指す。



第3部 地域が目指す姿

(1) 高齢者にやさしい地域ぐるみの支え合い

地域としても、今後さらに高齢化が進む中、独り暮らしの方への見守り活動から、更に要介護者、障がいを持つ方への三軒両隣りでの声掛け、見守り、支え合いの連携活動が出来る地域づくりを目指す。



(2) 防災に強い安心して暮らせる地域ぐるみの助け合い

東地区は特に地震災害が大きく予想されている中で、地域住民の地震に関する意識が非常に低く、「自分の命は自分で守る」自助、「近隣同士での助け合い」共助など、広報活動の徹底による地域づくりを目指す。



(3) 「子どもは宝」地域での子育てと思いやりのあるまち

少子高齢化が進む中、一部地域の人口増加は見られるものの、東コミ全体を見れば、今後人口減少が考えられる中、特に大型土地開発による新しい入居者増加による子ども達への成長を、地域として期待し、思いやりある地域づくりを目指す。



(4) 四王寺の自然環境を守り、活かすふるさとづくりのまち

四王寺山の麓にある東コミは、善一田遺跡や、大野城跡を含む緑豊かな自然環境に恵まれて居る事から、自然との調和がとれる地域づくりを目指す。



第4部 まちづくりの具体的計画

(1) 「安全で安心できる快適な福祉の東コミ」まちづくり

① 東コミ地域生活支援体制整備事業

自分の安全を守り自分で実行する(自助)、人に世話にならない努力をすることの必要性を訴えながら、ご近所同士、地域ぐるみでの支え合いを実行し、在宅医療、介護予防、介護サービスなどの生活支援体制を構築。

「福祉包括ケアシステム委員会」

前年度継続事業で対応。本年度から順次対応事業。

② 高齢者認知症対象者事業

各区ケア会議を中心に認知症対象者を注出、また疑いのある疑認知症者等への徘徊時の搜索活動の組織対応を構築。

「認知症 SOS ネット委員会」

平成29年度搜索訓練実施、その後の対応策を検討、本年度から5年度までの事業。

③ 高齢者福祉移動バス事業

高齢者で買い物、通院などの移動が不自由な対象者を中心に、高齢者や要介護者等の移動バス事業のコミュニティ運営を検討。

「高齢者福祉バス対策委員会」

本年度より実施予定。以降継続的に運行実施予定。

④ 要介護者(障がい者含む)緊急避難対策

災害時(台風・土砂・地震等)の要介護者避難対策についてリストアップし、避難誘導などの組織的対応策を協議。

「要介護者避難誘導対策事業」

本年度より調査、各地区での対象者抽出後の緊急時避難誘導訓練実施。

(2) 「自分の命は自分で守る、防災に強い東コミ」まちづくり

① 地震防災対策事業「防災対策委員会」

- ・ 土砂・台風・地震などの災害が予想されるが、特に被害予想の高い地震による防災対策を基本に市民の意識づけから避難準備、避難行動までの対応について、有識者を中心に「防災対策委員会」を発足する。
- ・ 各区「防災ハザードマップ」づくり(各区防災責任者)を中心に、区内の街歩き、ワークショップ等を開催、災害時の緊急避難事業の一環とする。

「防災ハザードマップ」作成事業

本年度より作業開始、マップ作り専門官の指導で区民と一緒に街歩き調査。

- ・ 各区単位の「地区防災計画」づくりを作業部会で検討、熊本など被災地を研修し、有識者の指導を得ながら、具体的な防災計画をつくる。

「各区防災計画」作成事業

本年度より作業開始、体験学習(熊本地震)や有識者のアドバイス等で作成。

- ・ 東コミ「防災ハザードマップ」「東地区防災計画」総合計画づくり。市の防災計画及び地域防災計画との連携、各区・及び校区単位防災計画。

「東コミハザードマップ、防災計画」

順次見直しを加え一応の目安を3年後、コミ全体で最終5年後をめどに完成。

(3) 「子どもの安全と地域資源との調和による東コミ」まちづくり

① 東地区の子ども達の安全を見守り、見守られる子育てを目指す。

- ・ 東地区の子ども達の安全を見守り、保護者、学校、地域で、子ども達への関わりを明確にしなが、現在実施中の挨拶運動から、見守り・見守られる子育てを目指す。
- ・ 学校運営協議会、学校・PTA・各区子ども会、との地域連携で、校区単位での防災避難訓練や各種イベントを実施。

「子どもと地域連携」実行委員会

次年度から順次各学校との連携による安全、見守り活動を実施。

② 東地区の地域資源を活かした「故郷づくり」を目指す。

- ・ 東地区が抱える自然環境、四王寺山を中心とした環境整備、善一田遺跡、大野城跡など、東地区の地域資源を活かした「故郷づくり」を目指す。
- ・ 学校との連携で四王寺山宝探し、東区民全体での環境整備と新事業などを企画開催。

「故郷づくり」実行委員会

東コミから広く委員を募集し、次年度より検討、「四王寺さくらまつり」(仮称)など。以降継続した事業などを検討。

まちづくりの具体的計画（一覧）

① 支え合いの福祉包括支援事業	2019	2020	2021	2022	2023
認知症徘徊 SOS ネット （高齢者の認知症徘徊者含む支援事業）	★	★	★	★	★
高齢者福祉移動バス運行 （高齢者福祉バスによる移動支援事業）	★	★	★	★	★
福祉包括ケアシステム事業 （独居者、要支援者等の見守り支援活動）	★	★	★	★	★
② 自然災害に備える地域防災事業	2019	2020	2021	2022	2023
広報活動による防災意識（自助・共助） （災害に対する区民への防災意識活動）	★	★	★	★	★
地域防災訓練（校区訓練）実施 （区単位から校区、地域での防災訓練）	★	★	★	★	★
地域ハザードマップ、地域防災計画 （7区防災マップ作りと地区防災計画）	★	★	★	★	★
③ 子どもの安全と地域資源との調和事業	2019	2020	2021	2022	2023
保護者・学校・地域での安全確保（子どもの安全 見守り、地域でのあいさつ運動などの事業）	☆	★	★	★	★
小中学校との連携で「故郷づくり」事業 （善一田、大野城跡など歴史環境事業）	☆	★	★	★	★
④ 東地域区民との交流事業	2019	2020	2021	2022	2023
文化・体育・シニア等総合事業 （文化祭、れくスポ、番茶・芸能大会）	◎	◎	◎	◎	◎
各種講習会・研修会事業 （人権同和、健康講座、電力消費講座）	◎	◎	◎	◎	◎
夏祭り、体育会各種運動会事業 （グランドゴルフ他各ゲーム大会等）	◎	◎	◎	◎	◎
⑤ 東地区子どもの安全交流事業	2019	2020	2021	2022	2023
青パト・登下校見守り （青パト見守り、カルタ会、交流会活動）	◎	◎	◎	◎	◎
安全子ども教室、交流会 （地子連活動、親子すこやかカルタ会）	◎	◎	◎	◎	◎
地区交番連携、交流会 （交番連絡会、安全講習・交流会）	◎	◎	◎	◎	◎

◎ 継続事業（現予算） ☆ 継続・新規（30年度のみ） ★ 新規（活性化交付金）

「東コミまちづくり計画」

平成 31 年 3 月 31 日発行

編集 東地区コミュニティ運営協議会

会長 小野原 正人

事務局 TEL 092-504-1430